

震災追悼行事

1月17日（水）、阪神・淡路大震災から29年目を迎え、当時の状況に思いを馳せ、犠牲となった方々のご冥福を祈るとともに、今後の防災教育に活かしていくために、震災追悼行事を実施しました。

当時、姫路市周辺は震度4の揺れを観測しましたが、家屋が倒壊するほどの被害はほとんどありませんでした。生徒たちは実際にこの震災を経験したわけではありませんが、震災追悼行事や震災関連の資料、報道等を通して当時の状況や苦労したことを今一度しっかり理解し、いつ起こるかもしれない災害に対しての意識を高めてもらいたいです。

折しも今月1日には、令和6年能登半島地震が起こり、当時の記憶が甦った方もいらっしゃるかもしれません。災害への備えを万全にするとともに、ご家庭でも避難経路や連絡先などの確認をしてください。

黙祷、校長の講話のあと、各クラスで資料「阪神・淡路大震災体験談」（明日に生きる）を読みました。最後の担任からの話もみんな真剣なまなざしで聞いていました。

